



自衛隊千葉地方協力本部

自衛隊千葉地方協力本部職場体験学習実施



職場体験学習実施状況2
(ロープワーク体験)

「久しぶりの体験型学習により生徒たちも生き生きと学習に取り組むことができた」との声も聞かれ、自衛隊に対する関心を高める良い機会になった。
成田地域事務所は各学校関係者及び地域の皆様のご理解ご協力のもと、これからも地域と一体となった募集広報活動を所員一同努めていく。

まず、前段に所長が「自衛隊の仕事」及び「災害派遣のしくみ」について講話し、陸上、海上、航空自衛隊には様々な職種・職域があり、様々な仕事を行っている事や災害派遣についても応じられる待機態勢をとっていること、派遣要請から派遣までの仕組みを説明した。後段は小型トラック、軽装甲機動車の見学、落下傘の装着体験及びロープワーク体験を実施した。担当広報官から装備品の説明を受けるとともに、普段見ることのない装備品を間近で見ることが出来、また、生活に役立つ結び方をいくつか紹介実際に体験してもらった。

自衛隊千葉地方協力本部成田地域事務所（所長 古川2陸佐）は、11月18日（木）、富里市立富里南中学校からの依頼を受け、2学年の職場体験学習に協力した。
当日は、「自衛隊」のほかに「警察」「美容室」「地域新聞社」「ラジオ局」の5つの職種について実施された。



職場体験学習実施状況1
(車両展示説明)

自衛隊千葉地方協力本部

一般曹候補生（空）合格者を入間基地見学へ案内



消防車両の説明を聞く参加者



体験搭乗前の記念撮影



懇談の様子1



懇談の様子2

自衛隊千葉地方協力本部は、令和3年12月5日（日）、航空自衛隊入間基地で実施された一般曹候補生（空）合格者の入間基地見学及び体験搭乗に合格者5名を案内した。本基地見学は、入間基地においてC-12輸送機による体験搭乗、職種・職域の紹介（警備及び消防）、営内の見学及び若年隊員との懇談などを実施し、航空自衛隊に対する理解を深めていただき、入隊に対する不安を解消するために実施したものである。
当日は天候にも恵まれ、快晴のなか入間基地を見学することができた。参加者は航空自衛隊員の説明に目を輝かせて聞き入り「隊員の方と入隊に際して準備しておくことや入隊後の生活等について話ができると不安が払拭されました。」「生活施設を見学することができて入隊後も日常生活が送れることがわかって安心しました。」との感想が上がった。体験搭乗では初めて乗るC-12輸送機に感動した様子で「高いところは苦手だと思っていたが、初めて飛行機に乗ってみて恐怖は感じなかった。」「着陸後操縦席を見せてもらったがスイッチが多くびっくりした。」などの声が聞くことができた。
千葉地方協力本部は、これからも各関係協力団体及び地域の皆様のご理解ご協力のもと、地域と一体となった募集広報活動を、関係部隊と連携しつつ部員一丸となって推進していく。